



わたしも  
ひまわり

皆の力で  
ごみの無い  
津山に



津山市には良い所がたくさんあるのに、どこに行っても道にごみが落ちていてうんざりします。観光客だって「ごみのまち津山」では、また来たいとは思わないでしょう。市民皆でごみの無い津山にしませんか？地区にごみ監視員を任命するなどして「ごみを捨てないまち津山」を徹底してほしいと思います。(新野山形・女性)



いるタバコの吸殻や空き缶。「ポイ捨て」と軽い言葉で表現されますが、これはれっきとした「ごみの不法投棄」です。電化製品などの粗大ごみや大量のごみが不適切に捨てられていけば犯罪意識も強まりますが、ポイ捨ては「犯罪である」という意識は低く、個々のモラルが問われてきます。現在は、不法投棄監視員制度により県から委嘱された人が地域の不法投棄の状況を監視し、県や市に報告しています。津山市では10人が委嘱され活動していますが、市でも職員の巡回や市民からの通報などにより不法投棄を把握し、現場の状況に合わせて対応をしています。今後も警察などと連携しながら対策を取っていきますので、気になる場所や不法投棄をしている人などを見つけたらご連絡ください。問い合わせ先 環境事業所 回 22・8255

# わたしのおすすめ

## 津山の魅力 紹介します

M&Y記念館  
草苺 亜衣さん



M&Y記念館は「世界のムナカタ」として有名な版画家棟方志功と旧上斎原村出身の詩人柳井道弘との交流や作品を紹介しています。昭和23年から28年にかけて棟方志功は美作地方を頻繁に訪れ、多くの作品を残しています。この津山を大変気に入って来ていたという事実は、津山の大きな財産。一人でも多くの人に紹介していきたいと思っています。わたし自身、芸術については何も知らなかったのですが、ここで作品に触れるたび、奥深さというか引き込まれるような感じがしています。特に「釈迦十大弟子二菩薩全十二図」の展示スペースは心落ち着く不思議な空間となっていて、ご利益を求めて来られる人も…。「芸術」と身構えるこ

となく、自分なりの楽しみ方をしていただければいいのだと思います。作品を鑑賞した後、ゆっくりとお茶を飲み、語り合う…。ここを訪れた皆さんと人・物・場所・歴史など、津山の魅力を共有していける場でありたいと思っています。わたしが載ったこの広報紙を持って来ていただいたら入館料を割引しますので、ぜひこの機会にお立ち寄りください。

M&Y記念館 棟方志功・柳井道弘記念館  
東一宮13-8回27-3239



開館時間 午前10時～午後5時(毎週月曜日は休館)  
入館料 大人500円、高校生以下無料(お茶とお菓子の接待あり)

# 未来をひびかる 津山人

## 津山で育ち学ぶことを誇りに

科学雑誌「ニュートン」編集長  
宇宙航空研究開発機構名誉教授  
水谷 仁さん(鍛冶町出身)



これまで謎であったものが解き明かされ、また新しい謎が生まれる…。発展し続ける科学の世界を分かりやすく読者に紹介する雑誌「ニュートン」編集長の水谷仁さん。この5月、津山市・美作大学・津山工業高等専門学校による包括連携協定締結を記念し、講演していただいたところを取材しました。

講演では「津山で学ぶ意義、伝統と未来への夢」という題でお話をいただきましたが、津山は、日本を代表する洋学者の箕作阮甫や箕作秋坪、津山



を作ってほしいと思います。一見役に立たないように見えても、学問や知識はどこかでつながっているものです。人々の間で情報交換していくことも重要です。その意味からも、この包括連携協定は良い機会になるでしょう。津山の思い出は？

津山は自然が豊かで、山も川も歩いて行ける距離にあります。吉井川で泳いで、神南備山に登って、友達と野球をして…。この自然の中で思いっきり遊びまわった。今の健康な体は子どものころの遊びによって作られたと感謝しています。

科学のおもしろさとは？自然現象には必ず法則があります。その法則を理解すると世の中が理解しやすくなるのです。木から落ちるリングの動きから惑星の運行まで、みんなニュートンの法則に従っているようにね。

筋道を立てて一つひとつを理解していけば、科学は誰にでも分かるもの。科学的なものの方や考え方を身に付けると、身近なものも見方も変わってきて、世界は奥深く、驚異に満ちているのだと感じます。人生をもっと楽しくしてくれるのが「科

学」なんです。子どもたちに「科学っておもしろいね」と言ってもらえた時が一番うれしいです。子ども時代に経験しておくべき事は？

とにかく外に出て、川や山でしっかりと遊ぶことです。遊ぶことで体は鍛えられます。そして自然の不思議さを直接肌で感じ取る経験をたくさんしてほしいですね。それには親の姿勢も問われてくると思いますが、学校や塾にすべてを任せるのではなく、親が子どもにきちんと教えることも大切です。親から子へ伝えたことは、子どもにとって人生の糧となりますからね。

子どものころからいろいろなものに好奇心旺盛だったという水谷さん。子どもの「なぜ?」「どうして?」を大切に育んでいきたいものです。